

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870104811
法人名	有限会社 ライフサポートさくら草
事業所名	グループホーム軽井沢
所在地	愛媛県松山市南斎院町乙19番地5
自己評価作成日	平成22年1月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年 2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員と利用者がともに支えあい、家族のような関係を築いていけるよう支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者一人ひとりの人格を尊重し、人生の先輩として常に優しく接し、プライドを傷つけないような支援に日々努めている。職員は支援させていただいていることへの感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」という言葉を大切に、より信頼関係を深めている。外出支援は頻繁に行い、墓参りや買い物に出かけたり、馴染みの場所を訪ねるなどしてリフレッシュしてもらっている。代表者は毎日ホームを訪れ、利用者や職員への声かけに努め、要望や意見等を聞き取ってサービスの向上につなげている。協力医療機関からの往診があり、また歯科・眼科やその他専門医への受診も必要に応じて職員が付き添うなど、適切な医療が受けられるよう配慮しており、健康面でも安心感がある。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別表第1の2)

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**  
  
**ーサービス向上への3ステップー**

<b>事業所名</b>	グループホーム軽井沢
<b>(ユニット名)</b>	ぽんかん
<b>記入者(管理者)</b>	
<b>氏名</b>	山脇 利美
<b>評価完了日</b>	H22年 1月 29日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 管理者と職員の意見を出し合い、おひとりお一人の立場に立ったケアプランの作成を実践できたと思います。また、現在のケアプランに満足することなく状況の変化に伴い、話し合いの場を多く持ちたいと思います。</p> <p>(外部評価) 利用者一人ひとりの心を大切にしたい理念を作成し、充実した生活が送れるよう、全職員が連携しながら支援に努めている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 夏祭り等、施設の行事には、地域の住民のお宅にビラを配布し、参加の呼びかけを行ったりして交流を図っている。また、地域の保育施設の園児とクリスマスや敬老会でのプレゼント交換等行っています。</p> <p>(外部評価) 自治会に加入している。クリスマスや敬老会には近くの保育園児がホームを訪れてくれ、プレゼント交換等をしている。保育園児や小学生がホーム前を通る際には、元気よく挨拶してくれている。また、中学生の体験学習を受け入れ、楽しく交流している。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) お散歩をされている老夫婦などお見かけすると、積極的にお声を掛けさせて頂いたり、近隣のお年寄りのお世話に来られる娘さんと、認知症についてのお話をさせて頂いたりしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議での外部の意見等を施設内ユニット会議等で話し合い、良いものを取り組んでいく努力をしています。	
			(外部評価) 利用者家族、地域代表者、市担当者等の出席を得て、2か月毎に開催している。ホームからは行事報告や利用者の生活の様子などを報告し、出席者からは要望や気づきを述べてもらい、実践可能な意見については早期にケアの改善につなげている。	職員への周知や後日の確認を十分行えるようにするためにも、よりわかりやすい議事録になるよう、記載方法を工夫していくことを期待したい。また、前回の自己及び外部評価で指摘された改善点等についても報告し、出席者から意見や助言を聞き取ってサービスの向上につなげていくことも期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	(自己評価) 生活福祉課の担当の方（ケースワーカー）にすぐ連絡が取れる様、電話番号が書いてあるメモを職員が把握している。また、納得のいかない利用者がいれば直接市役所の方へお連れし、お話をさせて頂くという事も行っている。	
			(外部評価) 運営推進会議以外でも市担当者とは情報交換を行っている。場合によっては市担当者のもとを訪ねて、アドバイスを求めるなどして課題解決に努めている。	課題解決のためにホームから市担当者を訪ねて助言や情報を得ることも大切であるが、ホームにも訪ねてもらえる機会を設け、ホームの実情を知ってもらってさらに理解や支援を得るよう取り組むことを期待したい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について正しく理解する為、事業所全員で勉強会を開き具体的な行為・言動などについて話し合いを行っている。	
			(外部評価) 職員は、身体拘束の対象となる行為等を正しく理解するよう学習会を持ち、自由でのびやかな暮らしが送れるよう支援している。日中は玄関に施錠せず、一人ひとりを見守ることで安全を確保するよう努めている。交番にも協力を依頼している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員同士の意識を高める為、勉強会を行い虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見人制度については勉強会を行ったが、もう少し理解を深める努力が必要である。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 出来ている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族の方が面会に来られた際には、積極的に声掛けをし施設に対しての意見や要望がないかお聞きするように心掛けている。  (外部評価) 利用者には、声かけに努めながら思いや要望を伝えてもらい、家族には、毎月請求書を送付する際に情報を伝え、家族からも希望や思いを伝えてもらうようお願いしている。遠方の家族にも手紙等で様子を知らせ、要望や気づきを伝えてもらえるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 常に話し合いの場を持ち、改善が必要なところは改善していくようにしている。</p> <p>(外部評価) 代表者は毎日ホームを訪れ、利用者や職員に声をかけて日々の様子を把握している。管理者は職員からケアの中で気づいた点や意見等を聞き取り、代表者に伝えて情報を共有している。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 代表者・管理者は勤務状況を把握しており職員の努力、実績など評価してくれていると思う。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 法人外の研修は、参加しているが少ないと思う。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 同業者との交流は出来ていない。今後取り組みを行いたい。</p>	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 早期に職員との信頼関係が出来るよう入居の際のフェースシート等を活用し、利用者の声を聞くように心掛けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前相談より、本人・家族等と面会の機会を多く持っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入所前面談には、介護支援専門員が行き見極め出来るよう努力している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日々の生活において職員が色々と教えて頂く事もあり関係が築けていると思う。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 食事会などを開催し、利用者のご家族が楽しめる機会をつくっている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 文通や面会等を通じて関係が途切れないよう職員が、間に入り支援している。  (外部評価) 墓参りや馴染みのスーパーに出かけたり、家族や友人が訪問して会話を楽しんだり、手紙や電話をする等、関係継続の支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士が協力して生活して行ける場をつくり、支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された利用者からの相談は、今までには無いが必要に応じて支援に努めている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 困難時は、本人の希望を把握し職員で話し合いを行っている。  (外部評価) 利用者には優しく名前呼びかけ、信頼関係を深め合い、買い物や食事に対する要望なども把握するよう努めている。会話から把握することが困難な利用者については表情や行動等からも思いを感じ取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居の際には多くの人からの情報を聞き、アセスメントしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 担当職員がおり、一人ひとりの現状を把握し職員間で共有している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 本人がよりよく暮らす為に、本人・家族の要望や変化に応じて臨機応変に見直しています。それぞれの意見やアイデアを出し合い、話し合った結果をもとに作成している。	
			(外部評価) 新しく入居する利用者については、家族等から生活の様子や健康状態を聞き取り、暫定的な介護計画を作成している。利用者の担当職員が日々の生活記録を基に作成した計画案について全職員が検討し、介護計画を作成している。見直しは6か月ごとに行い、変化に応じて柔軟に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) より良いケアに向けて情報を共有しながら日々の職員間のケアに活かしています。本人を身近で支える職員しか知りえない事実やケアの気づきをいきいきと具体的に記録に記入し、介護計画の見直しに活かしています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個人のニーズに対しては柔軟な対応をしており、結果的には事業所の多機能化を進めて行っています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの地域資源を探り、その人らしい暮らしをつづけられる様支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 入所時に本人や家族さんとお話をお聞きし入所される まで行かれていたかかりつけの病院で診てもらえるよ う支援している。</p> <p>(外部評価) 入居前からのかかりつけ医を受診している利用者もい るが、利用者の多くは協力医療機関を受診している。 協力医療機関から1～2週間ごとに往診があり、また 協力歯科医院も設け、必要な場合は対応している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 介護職員の観察や記録を大事にしていち早く看護職の 方が対応してくれている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 入院した際には、主治医や家族さんと話し合いを重ね 出来るだけ早期に退院できるように支援している。ま た、環境が変わったことで不安な気持ちにならないよ う職員がお見舞いに行っている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 入所時にターミナルケアの方針など説明を行ってい る。重度化した場合には、家族・医師・事業所・職員 で医師の説明を受けながら今後の方針を話し合ってい る。</p> <p>(外部評価) 看取りについては入居時に本人及び家族と相談して、 意思を尊重した対応に努め、家族・医師及び看護師・ 職員等が連携を密に取りながらケアにあたっている。</p>	<p>重度化及び看取りに関するマニュアルをわかりやすく 作成し、職員の学習を継続して行うことが求められ る。</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 利用者一人一人の毎日の状態を把握している。しかし、応急対応や初期対応の実践力には不安がある。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は行っている。地域の協力員との避難訓練も行っている。  (外部評価) 年1回、消防署の指導のもと、地域住民の理解を得ての訓練を実施している。さらに、地域の自主防災会に代表者と管理者が参加して、地域住民との連携を深めている。	わかりやすいマニュアルと緊急連絡網を作成し、ホームの要所に備えておくことが望まれる。地震に対する備えとして、家具類の固定についても検討を期待したい。また、夜間を想定した訓練や、緊急連絡網を使つての訓練等を定期的実施していくことも期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者一人一人に応じた接し方や話し方で対応している。  (外部評価) 個人情報の取り扱いについては全職員が理解している。利用者には人生の先輩として常に尊敬の念を持ち、プライドを傷つけないよう支援している。「ありがとう」という言葉を大切に、より信頼関係を深めるようケアにあたっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者の意見を尊重するようにしているが、職員側が決めてしまう事もある。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の意見を尊重しているが、時には職員の都合を優先してしまうこともある。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 行きつけの美容室にお連れしカットや毛染めをしている。洋品店に行き好みの洋服を買いに行ったりもしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事作りや盛り付け、後片付けなど出来る方には職員と一緒にしてもらっている。	
			(外部評価) 食事中は楽しく会話がはずみ、自分のお気に入りの食器を使い、家庭的な雰囲気の中で食事を楽しんでいる。職員は、支援の必要な利用者の側でゆっくりと優しく支援している。食事の準備や下膳を手伝っている利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の食事量は記録につけている。水分摂取量が減少しないように水分摂取の機会を多く摂っている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 歯ブラシが使える利用者は、食後の歯磨きの声掛けをし義歯の方は、夕食後義歯を預かり洗浄剤に入れている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人一人の排泄パターンを把握し声掛けにてトイレ誘導をしている。	
			(外部評価) 排泄チェック表を備え、詳細に記録している。職員は利用者ごとの排泄パターンを把握して、極力おむつの使用を減らし、トイレでの排泄ができるよう、排泄の自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分の摂りづらい方には、積極的に摂れるよう声掛けしている。食事でも植物繊維が多い食材を取り入れるよう工夫している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴をしたい希望があれば入浴できるよう支援しているが、職員が決めてしまっている。	
			(外部評価) 週に2回は入浴できるよう支援している。本人の希望やタイミングに合わせ、羞恥心や恐怖心なく入浴を楽しめるよう個別に支援している。シャワー浴等も柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者一人一人のペースで休んでもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬に変更があったり、症状に変化があれば申し送りや記録で伝えている。用法や用量については理解出来ていると思う。副作用については不安が残る。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者一人一人の生活歴を把握し、その人が活躍できるよう支援している。天気の良い日はドライブやお出かけなど気分転換出来るよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 初詣・お花見等四季に応じて外出している。家族や地域の人々との協力しながらの外出は、出来ていない。	
			(外部評価) 天気のいい日はほとんど毎日外出している。カラオケに出かけたり、道の駅、公園、神社などにドライブに出かけて楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の状態や家族の希望に応じて所持していただき、買い物時にご自身で清算して頂いている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば電話をかけてお話して頂いている。また、文通をされている利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花を生けたり飾り物などで、季節感が味わえるよう工夫している。	
			(外部評価) 居間・食堂は明るく、窓からは公園が眺められ、近くの学校の校庭で学生が運動をしている様子も眺められ、心が和む環境である。居間・廊下には習字や写真、折り紙を貼り、親しみのある雰囲気づくりをしている。ゆったりと寛げるソファも備え、懐かしい歌を楽しんでいる利用者もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングとは別の場所にテレビとソファがあり、好きな場所で過ごせるようしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 今まで愛用された時計や家具を用いて住み慣れた環境に近づけるように工夫している。	
			(外部評価) 居室の各入口にはボランティアが描いた利用者の似顔絵を掲げており、自然に親しみがわいてくる。居室は明るく、馴染みの調度品を持ち込み、思い出の写真やぬいぐるみを飾り、自分の部屋らしく居心地よく過ごせるよう工夫している。仏壇を置いている居室もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 出来る事が安全に出来るように支援している。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	
法人名	有限会社ライフサポートさくら草
事業所名	グループホーム軽井沢
所在地	愛媛県松山市南斎院町乙19番地5
自己評価作成日	平成22年1月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年 2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人一人の気持ち、ペースを大切に利用者それぞれの希望、やりたいことが出来る楽しみや幸せを感じれる時間が少しでも増やせるような支援をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者一人ひとりの人格を尊重し、人生の先輩として常に優しく接し、プライドを傷つけないような支援に日々努めている。職員は支援させていただいていることへの感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」という言葉を大切に、より信頼関係を深めている。外出支援は頻繁に行い、墓参りや買い物に出かけたり、馴染みの場所を訪ねるなどしてリフレッシュしてもらっている。代表者は毎日ホームを訪れ、利用者や職員への声かけに努め、要望や意見等を聞き取ってサービスの向上につなげている。協力医療機関からの往診があり、また歯科・眼科やその他専門医への受診も必要に応じて職員が付き添うなど、適切な医療が受けられるよう配慮しており、健康面でも安心感がある。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム軽井沢

(ユニット名) さくらんぼ

記入者(管理者)

氏名 山脇 利美

評価完了日 H22年 1月 29日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 管理者と職員の意見を出し合い、おひとりお一人の立場に立ったケアプランの作成を実践できたと思います。また、現在のケアプランに満足することなく状況の変化に伴い、話し合いの場を多く持ちたいと思います。</p> <p>(外部評価) 利用者一人ひとりの心を大切にしたい理念を作成し、充実した生活が送れるよう、全職員が連携しながら支援に努めている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 夏祭り等、施設の行事には、地域の住民のお宅にビラを配布し、参加の呼びかけを行ったりして交流を図っている。また、地域の保育施設の園児とクリスマスや敬老会でのプレゼント交換等行っています。</p> <p>(外部評価) 自治会に加入している。クリスマスや敬老会には近くの保育園児がホームを訪れてくれ、プレゼント交換等をしている。保育園児や小学生がホーム前を通る際には、元気よく挨拶してくれている。また、中学生の体験学習を受け入れ、楽しく交流している。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) お散歩をされている老夫婦などお見かけすると、積極的にお声を掛けさせて頂いたり、近隣のお年寄りのお世話に来られる娘さんと、認知症についてのお話をさせて頂いたりしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議での外部の意見等を施設内ユニット会議等で話し合い、良いものを取り組んでいく努力をしています。	
			(外部評価) 利用者家族、地域代表者、市担当者等の出席を得て、2か月毎に開催している。ホームからは行事報告や利用者の生活の様子などを報告し、出席者からは要望や気づきを述べてもらい、実践可能な意見については早期にケアの改善につなげている。	職員への周知や後日の確認を十分行えるようにするためにも、よりわかりやすい議事録になるよう、記載方法を工夫していくことを期待したい。また、前回の自己及び外部評価で指摘された改善点等についても報告し、出席者から意見や助言を聞き取ってサービスの向上につなげていくことも期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 生活福祉課の担当の方（ケースワーカー）にすぐ連絡が取れる様、電話番号が書いてあるメモを職員が把握している。また、納得のいかない利用者がいれば直接市役所の方へお連れし、お話をさせて頂くという事も行っている。	
			(外部評価) 運営推進会議以外でも市担当者とは情報交換を行っている。場合によっては市担当者のもとを訪ねて、アドバイスを求めるなどして課題解決に努めている。	課題解決のためにホームから市担当者を訪ねて助言や情報を得ることも大切であるが、ホームにも訪ねてもらえる機会を設け、ホームの実情を知ってもらってさらに理解や支援を得るよう取り組むことを期待したい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について正しく理解する為、事業所全員で勉強会を開き具体的な行為・言動などについて話し合いを行っている。	
			(外部評価) 職員は、身体拘束の対象となる行為等を正しく理解するよう学習会を持ち、自由でのびやかな暮らしが送れるよう支援している。日中は玄関に施錠せず、一人ひとりを見守ることで安全を確保するよう努めている。交番にも協力を依頼している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員同士の意識を高める為、勉強会を行い虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 一部の職員のみ研修等に参加し勉強しているが、職員全体での把握・活用という点では不十分である。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 出来ている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族の方が面会に来られた際には、積極的に声掛けをし施設に対しての意見や要望がないかお聞きするように心掛けている。  (外部評価) 利用者には、声かけに努めながら思いや要望を伝えてもらい、家族には、毎月請求書を送付する際に情報を伝え、家族からも希望や思いを伝えてもらうようお願いしている。遠方の家族にも手紙等で様子を知らせ、要望や気づきを伝えてもらえるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 常に話し合いの場を持ち、改善が必要なところは改善していくようにしている。</p> <p>(外部評価) 代表者は毎日ホームを訪れ、利用者や職員に声をかけて日々の様子を把握している。管理者は職員からケアの中で気づいた点や意見等を聞き取り、代表者に伝えて情報を共有している。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 代表者・管理者は勤務状況を把握しており職員の努力、実績など評価してくれていると思う。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 法人外の研修は、参加しているが少ないと思う。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 同業者との交流は出来ていない。今後取り組みを行いたい。</p>	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 利用者の方やご家族の話聞き、不安の軽減や希望に添えるよう支援している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用者、そのご家族の話聞き取り必要な医療機関等利用できるよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員側から利用者へお手伝いをお願いしたり、暮らしの知恵など教えて頂いたりもします。その時には、お礼の言葉を忘れないように心掛けている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族が疎遠、遠方の方に対して積極的な関係作りが出来ていません。本人と家族の絆をしていく支援を考えなければならない。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 積極的には行えていません。利用者が希望されたときや季節の行事など会う機会を支援しています。  (外部評価) 墓参りや馴染みのスーパーに出かけたり、家族や友人が訪問して会話を楽しんだり、手紙や電話をする等、関係継続の支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の人間関係、性格を把握し利用者同士が関わり合える関係作りを職員が支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院で退所された方へのお見舞いに行ったり、家族からの相談に応じている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 意思の疎通が出来る方については日常の会話から暮らし方の希望、意向を把握している。出来ない方に対しては、ご家族への聞き取りも行っている。  (外部評価) 利用者には優しく名前呼びかけ、信頼関係を深め合い、買い物や食事に対する要望なども把握するよう努めている。会話から把握することが困難な利用者については表情や行動等からも思いを感じ取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人・家族から聞き取り記録に残している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 状態の変化があれば職員間での申し送りをしており介護記録にも記入する事でその場に居ない職員も把握できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 自己の表出が出来る方については希望を聞き支援している。困難な方については家族の意向をもとに職員間で話し合い決めている。	
			(外部評価) 新しく入居する利用者については、家族等から生活の様子や健康状態を聞き取り、暫定的な介護計画を作成している。利用者の担当職員が日々の生活記録を基に作成した計画案について全職員が検討し、介護計画を作成している。見直しは6か月ごとに行い、変化に応じて柔軟に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケアプランに沿ったケアが実践できるよう具体的計画を数字に置き換え介護記録に記入している。それに対する評価をそれぞれの担当者・管理者で毎月行っている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人の状況、ご家族の要望によりそのとき必要な医療機関への受診又は、往診を支援している。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域のスーパーや飲食店、医療機関を利用している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 希望又は納得された病院から医療を受けており相談や 報告をしながら連携に努めている。</p> <p>(外部評価) 入居前からのかかりつけ医を受診している利用者もい るが、利用者の多くは協力医療機関を受診している。 協力医療機関から1～2週間ごとに往診があり、また 協力歯科医院も設け、必要な場合は対応している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 看護職員が利用者の状態を把握しており、状態に応じ て介護職員への指示がある。相談や報告も出来てい る。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 早期に退院できるよう医療機関との連携を図ってい る。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 本人・家族の希望は把握できているが定期的な話し合 いが必要である。</p> <p>(外部評価) 看取りについては入居時に本人及び家族と相談して、 意思を尊重した対応に努め、家族・医師及び看護師・ 職員等が連携を密に取りながらケアにあたっている。</p>	<p>重度化及び看取りに関するマニュアルをわかりやすく 作成し、職員の学習を継続して行うことが求められ る。</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルはあるが定期的な訓練の実施は行っていない。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は行っている。地域の協力員との避難訓練も行っている。  (外部評価) 年1回、消防署の指導のもと、地域住民の理解を得ての訓練を実施している。さらに、地域の自主防災会に代表者と管理者が参加して、地域住民との連携を深めている。	わかりやすいマニュアルと緊急連絡網を作成し、ホームの要所に備えておくことが望まれる。地震に対する備えとして、家具類の固定についても検討を期待したい。また、夜間を想定した訓練や、緊急連絡網を使つての訓練等を定期的実施していくことも期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者の性格や状態に合わせた声掛けを行っている。  (外部評価) 個人情報取り扱いについては全職員が理解している。利用者には人生の先輩として常に尊敬の念を持ち、プライドを傷つけないよう支援している。「ありがとう」という言葉を大切に、より信頼関係を深めるようケアにあたっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 希望を表すことが出来る方にはお伺いしている。困難な方へは選択できる場面作りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の生活習慣やペースに合わせて過ごして頂ける様に努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 日々の一人一人の様子を観察し、希望に応じた対応をしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人一人の能力やその日の体調に合わせて食事を楽しんで頂ける様心掛けている。利用者の方も片づけを好意的に行ってくれている。	
			(外部評価) 食事中は楽しく会話がはずみ、自分のお気に入りの食器を使い、家庭的な雰囲気の中で食事を楽しんでいる。職員は、支援の必要な利用者の側でゆっくりと優しく支援している。食事の準備や下膳を手伝っている利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 記録に記入し職員全体で把握できるようにしている。水分摂取が少ない方に対しては、声掛けを行っている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 介助を要する方には出来ているが自分で出来る方に関しては、本人の希望もあり毎食後は出来ていない。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 利用者の状態に応じて支援できている。個々の排泄状態も記録し職員全体で把握できるように努めている。	
			(外部評価) 排泄チェック表を備え、詳細に記録している。職員は利用者ごとの排泄パターンを把握して、極力おむつの使用を減らし、トイレでの排泄ができるよう、排泄の自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維が多い食物をとりいれたり、水分摂取を促しているが緩下剤に頼っている事が多く、努力が必要である。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者の希望や体調に合わせて入浴して頂いている。入浴時間等も個々のペースで入浴できるよう支援している。	
			(外部評価) 週に2回は入浴できるよう支援している。本人の希望やタイミングに合わせ、羞恥心や恐怖心なく入浴を楽しめるよう個別に支援している。シャワー浴等も柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は定期的に休んで頂ける様にしており夜間帯も個々のタイミングで就寝して頂いている。眠れない方に対しては職員と一対一でお茶を飲んでいただいたりお話をお聞きし、安心して眠っていただく環境作りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の目的や副作用、用法や用量は確認している。利用者の状態の変化があった場合は、医師に報告し医師の指示のもと服薬を行っている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人一人の力を活かした生活ができるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 普段から希望に沿って外出をしている。家族へ協力をお願いできるよう支援しているが、地域の方との交流が少ない為関わっていない。	
			(外部評価) 天気のいい日はほとんど毎日外出している。カラオケに出かけたり、道の駅、公園、神社などにドライブに出かけて楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の希望や能力に応じ所持して頂いている。自分のお金をいつでも使えるよう支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビング、廊下の壁に利用者の写真を貼ったり、色紙等でコーディネートしている。夜間の明かり室温・湿度等過ごしやすいよう支援している。	
			(外部評価) 居間・食堂は明るく、窓からは公園が眺められ、近くの学校の校庭で学生が運動をしている様子も眺められ、心が和む環境である。居間・廊下には習字や写真、折り紙を貼り、親しみのある雰囲気づくりをしている。ゆったりと寛げるソファも備え、懐かしい歌を楽しんでいる利用者もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 定席と別にソファを用意している。ベランダには喫煙スペースを作っている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) それぞれ持ち込みの家具、家電がある。清潔に配慮し毎日掃除している。	
			(外部評価) 居室の各入口にはボランティアが描いた利用者の似顔絵を掲げており、自然に親しみがわいてくる。居室は明るく、馴染みの調度品を持ち込み、思い出の写真やぬいぐるみを飾り、自分の部屋らしく居心地よく過ごせるよう工夫している。仏壇を置いている居室もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 施設内は安全な環境作りがされている。利用者本人が出来ることが、出来るよう支援している。	